

第 55 回薬物治療モニタリング研究会特別ゼミナールのご案内

実行委員長 篠崎 公一
実行副委員長 渋谷 正則

第 55 回薬物治療モニタリング研究会特別ゼミナールを下記の要領で開催します。本ゼミナールでは、「TDM 症例検討ワークショップ：薬物投与設計の実際」をテーマとして、臨床に即した二種類のアプローチを習得できるように、昨年と異なる新たな TDM 実施症例を題材としたスモールグループディスカッション(SGD)によるワークショップを行います。

1 日目は手計算による動態解析・投与設計の検討を行い、2 日目は TDM ソフトウェア OptjpWin Spreadsheet (別称: OptjpWinS) の最新版を用いてベイジアン法による動態解析・投与設計を検討します。OptjpWinS は、関連書籍の公開までの間、本ゼミの参加者への限定配布となりますので、この機会に機能、操作性及び有用性をご確認下さい。

なお、本ゼミナールは、現在および改訂版のモデル・コアカリキュラムの TDM に関する項目に準拠しています。講義、事前実習及び実務実習での TDM 教育指導の充実のために、そして TDM 業務のレベルアップにご活用下さい。また、薬学部学生の方々も実務実習の予習、復習、補習の機会として役立てて下さい。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

記

テーマ：『TDM 症例検討ワークショップ：薬物投与設計の実際』

日時：1日目 平成26年 3月 8日(土) 9:00～17:10

2日目 平成26年 3月 9日(日) 9:00～17:10

場所：北里大学薬学部 1号館 2階 (1日目), 5階 (2日目) (〒108-8641 東京都港区白金5-9-1)

内容：1日目 教育講演「症例から学ぶTDM実践アプローチ」, 症例提示・ポイント解説, 症例検討ワークショップ

2日目 教育講演「TDMにおけるPCの活用」, 講義・演習「OptjpWinSの機能と操作法」, 症例呈示・ポイント解説, 症例検討ワークショップ

(詳細はホームページから日程表をダウンロードして下さい)。

* 受講者は、日本薬剤師研修センター認定シール6単位(1日参加は4単位)を取得できます。

定員：40名 (先着順)

薬物治療モニタリング研究会URL：<http://www.rgtdm.org/特別ゼミナール/>